

広報

輝く伊万里を創る『3つの元気』

人が元気！

産業が元気！

地域が元気！

# 伊万里

平成22年度 予算特集号



伊万里の子キッズスポーツフェスティバル (3月21日：国見台陸上競技場)

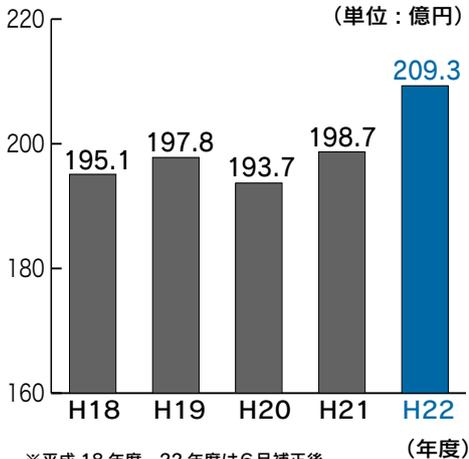
# 平成 22 年度

## 6月補正後予算総額

# 209億2792万円

### 一般会計

一般会計予算額の年度別推移



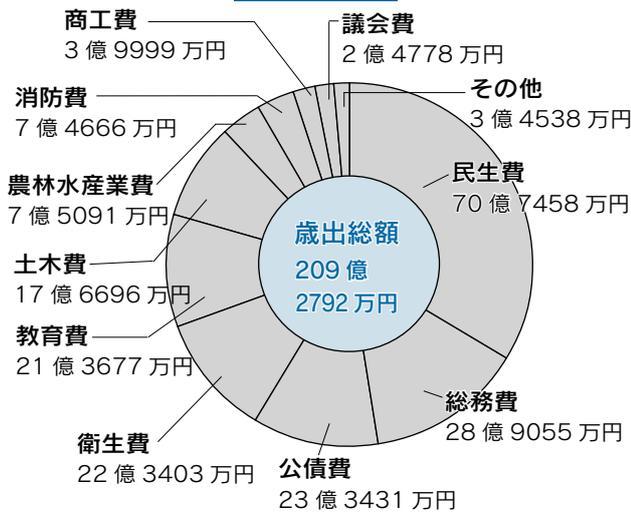
※平成 18 年度、22 年度は 6 月補正後

今年度は市長改選の年に当たり、当初予算は義務的経費や経常的経費などを中心にした言わば骨格予算でした。今回の補正予算で投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行ったところです。

平成 22 年度 6 月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で 209 億 2792 万円となっています。これは、子ども手当の創設などに伴い予算規模が大きくなっているもので、平成 21 年度の同期（6 月補正後）と比較すると 2.1 割の増加となりました。

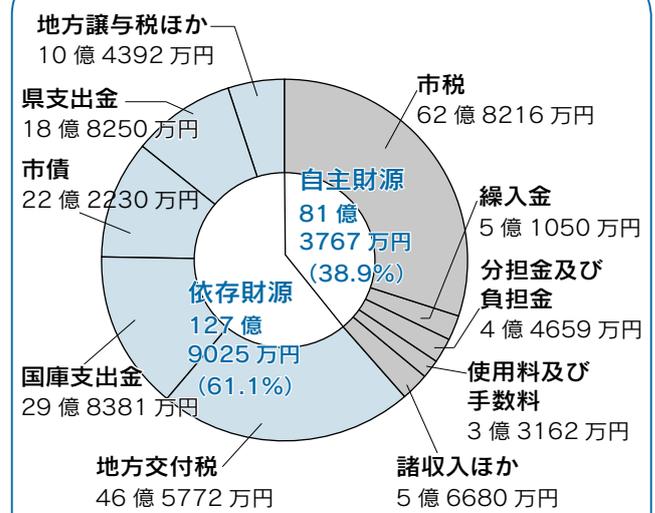
厳しい財政状況の中で、事業の重要性、緊急度を考慮し、財源の重点的、効率的運用を図り、予算編成を行いました。その概要は次のとおりです。

### 歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 農林水産業費………農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

### 歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 繰入金………基金や特別会計からの繰入金です
- 分担金・負担金………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです

# 特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成22年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、161億1016万円となっています。

■国民健康保険特別会計  
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	71億5,326万円
介護保険	50億9,846万円
立花台地開発事業	2億1,846万円
公共下水道事業	22億4,598万円
農業集落排水事業	1億5,836万円
市営駐車場	1,272万円
老人保健	177万円
後期高齢者医療	12億2,115万円

給付を行うための会計です

■市営駐車場特別会計  
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便性の向上を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

■老人保健特別会計  
75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

■後期高齢者医療特別会計  
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域

■立花台地開発事業特別会計  
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

■公共下水道事業特別会計  
快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

■農業集落排水事業特別会計  
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

■病院事業特別会計  
市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億3,972万円	10億8,562万円	11億8,875万円
	支出	13億3,972万円	10億8,562万円	11億8,875万円
資本的収支	収入	6億4,011万円	2億1,258万円	9,273万円
	支出	21億8,069万円	4億766万円	1億1,446万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	209億5,494万円	
特別会計	公共下水道事業	144億2,981万円
	農業集落排水事業	13億5,807万円
計	367億4,282万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	50億3,770万円
	工業用水道事業	157億1,486万円
	病院事業	2億3,990万円
計	209億9,246万円	

※平成22年5月31日現在の金額です

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

# 企業会計

連合へ納付する会計です

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

# 市債現在高

3のとおりです。

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表

# 人が元気！

# 産業が元気！

# 地域が元気！なまちづくり



議場で所信表明を行う塚部市長

## 平成 22 年 第 2 回定例会 所信表明

平成 22 年第 2 回定例会（6 月議会）で、塚部市長が平成 22 年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

私は、先の市長選挙におきまして、市民の皆さんの温かいご支持により 3 期目の市政運営について負託をいただきましたことは、この上なく光栄に思いますとともに、今回の選挙に際し、市内各地において多くの皆さんのまちづくりに対するさまざまな想いに触れ、市長としての使命と責任の重さを改めて痛感し、まさに身の引き締まる思いです。

伊万里市長

### 塚部 芳和

Yoshikazu Tsukabe

## 市民福祉の向上と

## 地域の発展に全力投球します

### はじめに

私は、美しい自然に抱かれ、素晴らしい歴史を刻んできたふるさと伊万里を真に豊かで自立した地域社会へとさらに高めていくため、まずは、市政運営の原点に立ち返り、今日まで市民の皆さんと築きあげてきた信頼関係のもと、『和の心』をもって、市民福祉のさらなる向上と地域の発展に全力を傾注していきます。

### 市政を取り巻く情勢

わが国の経済情勢は、一昨年来の世界的な金融危機の中で取り組まれた積極的な景気対策により回復基調にあるものの、ユーロ圏における財政金融問題の影響など、依然として先行きは予断を許さない状況にあります。

また、国政における政権交代に伴い、制度などの抜本的な見直しが進められるとともに、子育てや雇用など国民の生活支援に予算が重点配分される一方、公共事業が抑制され、社会基盤の整備が遅れている地方においては、地域経済への影響が懸念される所です。

国と地方の関係においても、地域主権の考えのもとで、従来の補助金制度から地方に裁量を与える一括交付金へと転換される方向にあるなど、住民に身近なサービスを提供する地方自治体の役割は一層重要となつていきます。

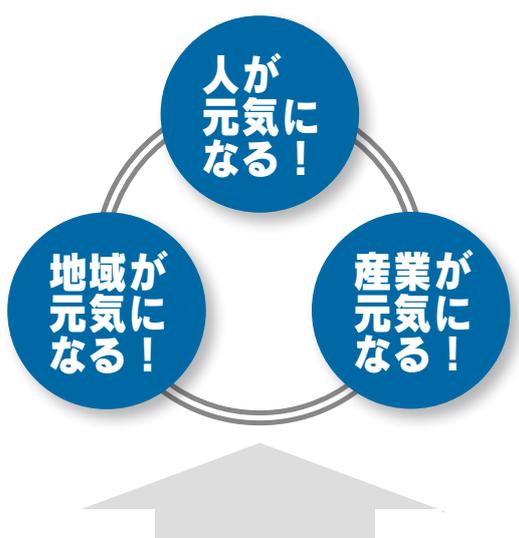
さらに、これまでの三位一体改革の影響や景気の後退に伴う自主財源の大幅な落ち込みにより、地方自治体の財政状況は一層厳しさを増しています。

このため、私は、固定観念にとらわれることなく、強い変革の意志をもって市政運営に取り組み、着実な行政改革の推進により財政の健全化を図り、自立した自治体経営の確立をめざします。

また、限られた財源の中で、市民のライフスタイルの変化や少子高齢化の進展などに機敏に対応した政策の展開により、市民の皆さんの満足度の向上に努めます。

こうした将来の姿を見据えた堅実な行財政運営を市政運営の基本とし、職員の政策形成能力のさらなる向上と政策官庁としての機能

さらなる伊万里の元気をめざして



第5次伊万里市総合計画  
5つのまちづくりの目標

- 安心で健やかな暮らしづくり P6~7
- 創造的で心豊かなひとづくり P8~9
- 活気あふれる産業づくり P10~12
- 安全で快適な地域づくり P13~14
- 自立と協働のまちづくり P15

の強化に努め、人が元氣、産業が元氣、そして地域が元氣なまちづくりに邁進していきます。

主要な施策

以上が、私の市政運営に関する基本的な考えですが、今回のマニフェストに掲げた事業などにつきましては、これからの市政運営において第5次伊万里市総合計画の実施計画に位置付け、着実に推進していく考えです。

次のページからは、市政の主要施策などについて、総合計画の『5つのまちづくりの目標』に沿って説明します。

今後の伊万里づくりの基盤となる  
大型プロジェクトの推進

▼伊万里有田地区統合病院

県西部保健医療圏における中核的役割を担う新統合病院については、本体建設に着工することから、平成23年12月の開院をめざし、有田町とともに事業を推進します。

▼西九州自動車道

西九州自動車道の整備については、昨年末に唐津道路が全線開通したことから、唐津伊万里道路の事業の促進について関係機関への働きかけをさらに強化し、福岡都市圏との時間距離の短縮により、本市産業の活性化と交流人口の拡大につなげていきます。

▼伊万里港水深13m岸壁

七ツ島地区において、大型コンテナ船舶への対応として水深13メートル岸壁の整備が進むとともに、昨年は念願の臨港道路七ツ島線についても事業化されたことから、伊万里港全体のさらなる物流機能の向上をめざし、事業促進に努めます。

▼広域ゴミ処理施設

県西部地区4市5町で整備を進めている広域ごみ処理施設については、大気質や水質などに関する環境影響評価を実施するほか、造成工事の用地測量などに取り組みます。

▼浦ノ崎失効地  
(川南造船所跡地)対策

浦ノ崎地区における埋立免許失効地については、長年の懸案でしたが、国をはじめ県や関係者との協議により、ようやく解決への糸口を見出すことができましたので、まずは土砂の法的整理による土地化に向けた取り組みを進めます。

▼井手口川ダム

井手口川ダムについては、平成23年度の完成に向け順調に建設が進められていることから、上水道の第9次拡張事業として引き続き浄水施設の整備を行うほか、関係機関などとの連携によりダム周辺の環境整備に取り組んでいきます。

※3月の提案理由説明より

# 安心で健やかな暮らしづくり



地域医療の充実を図るため有田町とともに進めている新統合病院の整備については、7月に本体建設に着工することから、来年12月の開院に向けて着実に事業を推進していきます。

安心して子どもを産み育てることができるとして、不妊治療や私立保育園2園の園舎整備への支援を行うとともに、市民の多様な保育ニーズに的確に対応した延長保育や一時預かりなどの充実を図ります。

また、少子化対策の一つとして市民の結婚活動を応援する婚活応援課を本年4月に新たに設置したところであり、結婚支援相談員の配置やイベントの開催など、民間団体等と連携した取り組みを展開していきます。

さらに、すべての市民が生涯にわたり健康で暮らすことができるよう、きめこまやかな保健サービスを提供していくため、保健活動における今後10年間の指針となる、いきいき健康づくりプラン21の改定に取り組みます。

## 中核的病院整備推進事業

3億897万円

西部保健医療圏（伊万里市、有田町）の中核となる新統合病院を整備するため、伊万里・有田地区医療福祉組合へ負担金を支出します

財源 市債1億9160万円 市1億1737万円 ▼公的統合病院推進室

## 病院群輪番制病院運営事業

454万円

初期救急医療（休日・夜間急患医療

センター、在宅当番医制）の後方支援として、休日において入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制により開院する伊万里・有田地区内の11病院に対し、運営に要する経費の補助を行います

財源 諸収入165万円 市289万円 ▼健康づくり課

子ども手当支給事業・児童手当支給事業(新)

12億1475万円

次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に子ども手当を支給します

財源 国9億115万円 県1億



新統合病院の完成イメージ図



1階エントランスホール



1階待合室

## 児童扶養手当支給事業

3億472万円

子と生計を同じくするひとり親家庭などの生活の安定と自立を支援するため、手当を支給します

財源 国1億151万円 市2億321万円 ▼福祉課

## 一時預かり事業

260万円

保育園児でない在宅の乳幼児について、一時的に預かり保育を行う保育園に対し補助を行います

財源 国130万円 市130万円 ▼福祉課

## 延長保育促進事業

510万円

保護者の就労時間などに対応するため、保育園の開所時間（11時間）を30分延長し延長保育を行う保育園に対し補助を行います

財源 県340万円 市170万円 ▼福祉課

## 病後児保育事業

450万円

保護者が就労などにより病後回復期の子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預けて安心して就労などができるよう、運営委託を行います

財源 県183万円 市267万円 ▼福祉課



子育て支援センター『ぼっほ』の参加者

●安心こども基金保育所緊急整備事業  
1億8864万円

保育園の施設整備にあたり、設置者の負担軽減を図るために補助を行います

財源 県1億2576万円  
市6288万円 ▼福祉課

●子育て支援センター管理運営事業  
642万円

子育て相談業務や多様化する保育需要に応じた一時保育、休日保育など子育て世代への支援を行います

財源 使用料70万円 県356万円  
市216万円 ▼福祉課

●婚活応援推進事業  
65万円

少子高齢化が進む中、少子化対策の一環として市民の結婚活動を行政の立場から支援します

財源 市65万円 ▼婚活応援課

●不妊治療エンゼルサポート事業  
100万円

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であり、治療費が高額となることから、その一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

財源 市100万円 ▼健康づくり課

●障害者自立支援給付事業  
6億3273万円

障害者やその保護者に対し障害福祉サービス利用の支援などを行い、障害者の自立や社会参加を促進します

財源 国3億1568万円 県1億



視覚障害のある人の日常生活を体験する『白い杖で歩こう』に参加する皆さん



『シルバー体育祭』に参加する元気な高齢者

5784万円 市1億5921万円 ▼福祉課

●福祉タクシー利用料金助成事業  
241万円

重度障害者などに対し、自立と社会参加を促進するためタクシー券を支給します

財源 市241万円 ▼福祉課

●敬老会開催事業  
758万円

各町において敬老会を開催し、88歳・90歳・99歳および100歳以上の長寿者に対し祝金を支給するとともに、最高齢者(男・女)に記念品を贈呈します

財源 市758万円 ▼長寿社会課

●老人クラブ活動事業  
285万円

伊万里市老人クラブ連合会および各

町単位老人クラブに対し、補助を行います  
財源 県59万円 市226万円 ▼長寿社会課

●予防接種事業  
9444万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児の各種予防接種および高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します

財源 県96万円 繰入金100万円  
市9248万円 ▼健康づくり課

●健康増進事業  
3445万円

市民の健康保持を目的に、各種健康診査、健康相談などを実施します

財源 国366万円 県79万円 諸収入614万円 市2386万円 ▼健康づくり課



『1歳6か月健康診査』で子どもの成長を確認

## 創造的で心豊かなひとづくり



安全な教育環境の整備として、平成19年度から実施している校舎の耐震診断に引き続き取り組むとともに、これまでの結果を踏まえ、二里小学校の校舎改築に向け仮設教室の整備を行うほか、学校や地域の実態に応じた特色ある教育や学校整備に取り組むなど、子どもの創造性や主体性を引き出す教育の推進に努めます。

また、地域におけるコミュニティ活動や交流の拠点となる自治公民館の整備を支援するとともに、国見台球技場の老朽化した夜間照明施設の改修を行うなど、スポーツ環境の整備を推進するほか、市民図書館では開館15周年を迎えることから、国民読書年に合わせ、子ども読書のまちの宣言や講演会など記念事業に取り組み、子どもの読書への関心や理解を深めていきます。



着々と建設が進む国見中学校校舎

### ●小学校耐震化事業 680万円

平成18年度に実施した耐震化優先度調査に基づき、耐震診断を行います  
財源 国195万円 市485万円

▼教育総務課

### ●小学校建設事業新 1519万円

平成21年度に行った耐震診断の結果、二里小学校（教室棟）については改築の必要があることから、仮設教室を設置し児童の安全な学習環境を確保します  
財源 市1519万円

▼教育総務課

### ●中学校建設事業（国見中学校校舎改築工事）事業 5億1384万円

老朽化した国見中学校について、平成21年度から2か年の継続費を設定し、校舎の建設を行います  
財源 国1億1622万円 市債1億9140万円 繰入金9000万円 市1億1622万円

▼教育総務課

### ●学力向上対策推進事業 140万円

小中学校の児童生徒を対象に到達度テスト（CRT）や市独自の漢字検定、中学1年生を対象とした新入生共通テストを実施し、実態の把握・分析、指導方法の改善を行い、今後のきめこまやかな指導の充実を図ります  
財源 繰入金140万円

▼学校教育課

### ●特色ある学校創造事業 250万円

教育活動に関する予算の使途について、校長の裁量の幅を広げることにより、創意工夫を生かした教育活動を行い、学校の自主性、自律性を向上させ、特色ある学校づくりを推進します  
財源 財産収入1万円 市249万円

▼学校教育課

### ●学校運営実践研究事業新 133万円

学校を取り巻く環境が変化する中、学校教育が抱える課題が複雑化・多様化し、教員の勤務状況が厳しくなっていることから、学校事務の効率化などにより、教員が子どもと向



創意工夫を生かした授業風景

き合う時間を確保し、質の高い教育活動を行うため、教員の事務負担の軽減などを目的とした学校運営に関する実践研究を行います  
財源 国133万円

▼学校教育課

### ●小・中学校理科教育振興事業新 480万円

新学習指導要領において、理科教育については、授業時数の増加とともに、実験・観察など新しい指導内容の充実を図ることとされていることから、指導内容に沿った理科備品の整備を行います  
財源 国240万円 市240万円

▼学校教育課

● **小学校管理総務事業（通級指導教室整備事業）** **30万円**

平成22年4月より伊万里小学校に開設した発達障害などのある児童のための通級指導教室『まなびの教室』の整備を行います

財源 市30万円 ▼ **教育総務課**

● **放課後子ども教室推進事業**

**108万円**

安全で安心な子ども活動拠点（居場所）を設け、学習やスポーツ、文化活動など、地域住民とのさまざまな交流活動などの取り組みを、地域の人たちの参画を得て推進します

財源 県72万円 市36万円 ▼ **生涯学習課**

● **青少年相談・補導活動事業**

**177万円**

いじめ・不登校・非行など問題行動が増加する中で、子どもや家庭がかかえる悩みなどを相談できる体制・環境を確立し、問題の早期解決に努めます

財源 財産収入4万円 市173万円 ▼ **生涯学習課**

● **伊万里塾推進事業**

**70万円**

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、地域の特性や課題などを踏まえた生涯学習を各種団体と連携し、各町公民館を拠点とする独自の

講座などを開催します

財源 市70万円 ▼ **生涯学習課**

● **自治公民館新築事業**

**250万円**

自治公民館などの新築に伴う経費の一部を助成します

財源 市250万円 ▼ **生涯学習課**

● **スポーツ振興支援事業**

**355万円**

市民スポーツの振興を図るため、市体育協会などへ各種補助を行います

財源 市355万円 ▼ **体育保健課**

● **ウォーキング大会開催事業**

**40万円**

誰もが気軽に参加できる『歩きたくなる街伊万里ウォーク』を開催し、市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウォーキングファンへ呼



伊万里の春を満喫できる『伊万里ウォーク』

びかけることにより、伊万里を広くPRします

財源 国16万円 市24万円 ▼ **体育保健課**

● **国見台体育施設改修事業**

**212万円**

国見台球技場夜間照明施設については、昭和53年の建設から31年が経過していることから、劣化状況の調査および改修工事を行います

財源 市212万円 ▼ **体育保健課**

● **家読推進事業**

**31万円**

読書を通じた家族のコミュニケーションを促進するため、市内13地区に組織されている家読実行委員会による事業の推進、拡大を図ります。また、読書を通じた人づくりを進めるため、家読に取り組んでいる自治体で開催される『家読サミット』へ参加します

財源 市31万円 ▼ **市民図書館**

● **ブックスタート事業**

**33万円**

生後3か月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対して、3か月児健診時に絵本を配布するとともに、ボランティアとの協働により読み聞かせを行います

財源 繰入金33万円 ▼ **市民図書館**

● **カプトガニ保護事業（カプトガニ展示館運営費補助金）**

**200万円**

地域資源を生かしたまちづくりを推進するため、地元保護団体が取り組む『カプトガニ展示館』の運営に対し補助を行います

財源 市200万円 ▼ **生涯学習課**

● **史跡大川内鍋島窯跡保存整備事業**

**5万円**

平成18年度に窯跡保存のための保存管理計画を策定していることから、今後は活用のための計画である基本構想、基本計画の策定に向け地域住民の意見を反映させるため、また史跡の整備活用について地域住民の理解を図るため、研修などの研究事業を行います

財源 市5万円 ▼ **生涯学習課**



『ブックスタート』で絵本に興味を示す赤ちゃん

## 活気あふれる産業づくり



食料自給率の向上などを目的とする戸別所得補償制度の本格実施に向け、水田農業を対象とした戸別所得補償のモデル事業が実施されることから、水田を有効に活用した麦や大豆などの生産拡大を促進し、経営安定を図ります。

危機管理上、目下の課題となっている口蹄疫対策については、県や農業団体などの連携を図り、防疫態勢を強化する一方、優良な繁殖雌牛の導入により、生産から肥育までを行う純粋伊万里牛の生産拡大への支援に努めます。

また、本市の豊かな農産物などをPRする食と農の祭典として新たに伊万里旨いもの収穫祭を開催するとともに、引き続き伊万里牛を活用した各種イベントを実施するなど、都市住民との交流の拡大や一層のブランド力の向上による伊万里牛の消費拡大を図ります。

さらに、いまり秋祭りやどっちゃん祭りなどを開催するとともに、伊万里歴史と文化のコンシェルジュ検定など地域資源を生かしたまちづくり活動への支援に努めます。

## ●戸別所得補償制度推進事業(新)

207万円

戸別所得補償モデル対策について、米の作付け面積や転作面積の調整などを円滑に推進するため、生産組合に対し補助を行います

財源 市207万円 ▼農業振興課

## ●米・麦・大豆競争力強化対策事業

1049万円

水田農業の担い手の経営安定と競争



炭山地区の棚田で行われた田植えに参加する児童

て、地域住民の保全活動や都市住民との交流施設の整備に対し補助を行います

財源 県40万円 繰入金20万円

## ▼農山漁村整備課

## ●小規模土地改良事業

500万円

国、県の採択基準に適合しない農道舗装、水路改良などの小規模な土地改良事業に対し支援を行います

財源 市500万円

## ▼農山漁村整備課

## ●中山間地域総合整備事業

市21万円

伊万里牛のブランド確立を図るとともに、子牛から一貫生産する体制づくりを推進するため、市内産子牛を購入した肥育農家に対して購入費の一部を支援します

▼伊万里牛課

4447万円

二里、東山代、山代地区の農業生産基盤などの整備費(県営事業)の一部を負担します

財源 分担金1160万円 市債1970万円 市1317万円

## ▼農山漁村整備課

## ●強い園芸農業確立対策事業

3973万円

園芸農業の振興のために、2戸以上の農業者で構成する営農集団などが行う機械・施設などの整備に対し支援を行います

財源 県3056万円 市917万円

## ▼農業振興課

## ●『伊万里農業未来塾』新規就農者育成確保推進事業

30万円

新規就農希望者を対象に、農作物の栽培管理や農機具の操作などの講習、指導を行う『伊万里農業未来塾』を開催します

財源 県15万円 市15万円

## ▼農業振興課

## ●畜産振興一般事業(伊万里産素牛購入促進事業費補助金)

21万円

伊万里牛のブランド確立を図るとともに、子牛から一貫生産する体制づくりを推進するため、市内産子牛を

購入した肥育農家に対して購入費の一部を支援します

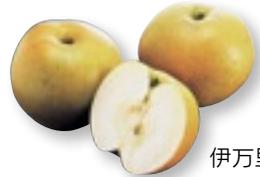
▼伊万里牛課



『伊万里牛バーベキュー列車』で伊万里牛をPR



伊万里牛



伊万里梨

伊万里の特産品は  
おいしかよ



クルマエビ



伊万里牛マスコットキャラクター  
『いまりんモーモちゃん』

●伊万里牛素牛生産拡大事業基金

500万円

優秀な肥育素牛を確保するとともに、繁殖農家の経営安定を図るため、規模拡大を行う繁殖農家に対し優良な繁殖雌牛を購入し貸し付けます

財源 市500万円 ▼伊万里牛課

●畜産自給力強化対策事業

195万円

伊万里産の肥育素牛の生産拡大を図り、併せて畜産農家と耕種農家が連携した資源循環型農業を推進するため、自給飼料の増産を図るための機械などの導入に対し助成します

財源 県150万円 市45万円

▼伊万里牛課

●伊万里旨いもの収穫祭開催事業(新)

100万円

農産物などの収穫を分かち合い、地域に根ざした伝統芸能を披露するなど感謝の心を深めるとともに、食のまち『伊万里』を市内外に広くPR

するため、『伊万里旨いもの収穫祭』を開催する実行委員会に対し開催費の一部を補助します

財源 諸収入100万円

▼伊万里牛課

●伊万里牛PR事業

99万円

伊万里牛を全国に広くPRすることを目指す各種イベントなどを行います

財源 市99万円

▼伊万里牛課

●グリーン・ツーリズム推進事業

291万円

本市の特色ある農畜水産物の魅力を市内外にPRし、それらの評価向上と地域間交流を促進し、農業・農村の活力増進を図ります。また、生産者や関係団体との円滑な連携、グリーン・ツーリズムの推進のため、農畜産物の専門的知識を有する人材を『都市農村交流支援員』として新



伊万里歴史と文化のコンシェルジェ検定

たに配置し、地域農業の活性化を図ります

財源 市291万円

▼観光課

●商店街活動強化事業(本町まちづくり活動支援事業費補助金)

30万円

伊万里を感じるまちづくりを行うため、『伊万里歴史と文化のコンシェルジェ検定』の開催やホームページの作成などを通して、商店街再生の取り組みを支援します

財源 国14万円 市16万円

▼企業誘致・商工振興課

●街づくり活動支援事業

34万円

中心市街地の活性化を図るため、伊万里商工会議所などが実施する中心市街地の活性化に寄与する事業に対し支援を行います

財源 市34万円

▼企業誘致・商工振興課

●国際アマチュア陶芸展事業

70万円

伊万里焼の産地として、広くPRを行うため、国内外からアマチュア陶芸家の作品を募集し、陶芸展を開催します

財源 繰入金20万円 市50万円

▼観光課

●いまり秋祭り事業

156万円

『いまり秋祭り』を運営する振興会に対し支援を行います

財源 市156万円

▼観光課



イマリンビーチの海開きで歓声をあげる子どもたち



観光ボランティアガイドの話を聞く旅行者

●どつちゃん祭り事業 160万円

伊万里の夏祭りとして定着している『どつちゃん祭り』の実施に対して支援を行います

財源 市160万円 ▼観光課

●観光ボランティアガイド養成事業 8万円

来訪者に対する満足度を高め、リピーターの増加をめざすなど観光客誘致促進を図るため、観光ボランティアガイドを養成します

財源 国3万円 市5万円 ▼観光課

●イマリンビーチ管理運営事業 776万円

イマリンビーチの年間を通した維持管理を行います

財源 使用料5万円 諸収入180万円 市591万円 ▼観光課

●伊万里・アジアネットワーク事業 265万円

アジア、特に中国（青島・香港など）をターゲットに伊万里の持つ資源を活用して、民間企業とタイアップした販促活動を展開し、地域経済の活性化をめざします

財源 繰入金63万円 市202万円 ▼開発推進課

●森林・林業・木材産業づくり事業 新

7706万円

間伐材などを利用した集成材の生産性向上のために行われる設備整備に係る経費に対し補助を行い、企業と森林所有者の経営安定を図ります

財源 県7693万円 市13万円 ▼農山漁村整備課

●企業訪問等立地勧奨事業 113万円

優良企業の誘致を実現するため、豊富で良質な労働力や東アジア地域に至近な地理的優位性を積極的にPRするなど、企業訪問を中心として立地勧奨を展開します

財源 使用料113万円 ▼企業誘致・商工振興課

●緊急雇用創出基金事業 9811万円

雇用情勢の悪化を受け、国からの交付金を財源として県で創設された緊急雇用創出基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります

財源 県9811万円 ▼企業誘致・商工振興課

●ふるさと雇用再生特別基金事業 814万円

雇用情勢の悪化を受け、国からの交付金を財源として県で創設されたふるさと雇用再生特別基金事業を活用



多くの企業が立ち並ぶ伊万里団地

し、地域の雇用機会の創出を図ります

財源 県814万円 ▼企業誘致・商工振興課

●中小企業振興資金貸付事業 2億3018万円

市内中小企業の資金調達の円滑化を図るための原資として金融機関へ預託します

財源 諸収入2億3000万円 市18万円 ▼企業誘致・商工振興課

●九州労働金庫預託事業 7000万円

市内勤労者の福祉向上を図るため、福利共済ならびに福利厚生資金の原資を九州労働金庫に預託します

財源 諸収入7000万円 ▼企業誘致・商工振興課

# 4 まちづくりの目標

## 安全で快適な地域づくり



福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道については、平成23年度に北波多インターチェンジ（仮称）までの開通が予定されている唐津伊万里道路のさらなる事業促進を図るとともに、本年4月の土砂崩れにより通行止めとなっている国道498号中田地区の早期復旧をはじめ、県道黒川松島線バイパスならびに臨港道路七ツ島の整備について、国や県への働きかけを強化していきます。

適正なごみ処理を効率的に行うため、現在、松浦町において、県西部地区4市5町で進めている広域ごみ処理施設の整備については、環境影響評価を実施するとともに、造成工事のための用地測量などに取り組んでいきます。

また、火災や救急などにおいて市民の生命や財産を守るため、老朽化した消防緊急通信指令システムを更新し、安定した運営に努めます。

### ▼企画政策課

●住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里推進事業（マイタウン定住奨励金） 264万円

伊万里市への定住を促進するため、市内に土地と家屋を取得した転入者に対し奨励金を交付します

財源 国119万円 市145万円

### ▼企画政策課

●浦ノ崎失効地対策事業（損失補償費、普通財産取得費）<sup>新</sup> 1億1288万円

長年の懸案事項であった浦ノ崎埋立免許失効地について、権利者の同意を得て解決を図ります

財源 県1億1288万円

●ごみ処理広域化推進事業 5192万円

佐賀県西部4市5町で構成されている佐賀県西部広域環境組合に対し経費を負担し、新施設の建設推進を図ります。今年度は、環境影響評価方法を基づく、調査・予測・評価などを行います

財源 市5192万円

### ▼環境課

●環境センター管理運営事業 2億5813万円

一般廃棄物を衛生的かつ適正に処理

財源 市5192万円



環境センターに家庭ごみなどを運び入れるごみ収集車

するため、リサイクル施設および焼却施設などの管理運営を行います。

財源 諸収入1534万円 市2億4279万円

●資源ごみ回収奨励事業 307万円

リサイクル推進およびごみ減量化対策の一環として、資源ごみの回収団体に対し補助を行います

財源 市307万円

### ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合事業 2億9173万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理・火葬場事業に要する費用を負担します

財源 市2億9173万円

### ▼環境課

●浄化槽設置整備事業（浄化槽設置整備事業補助金） 3232万円

浄化槽を設置する世帯に対し補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図ります

財源 国1077万円 県1077万円 市1078万円

### ▼下水道課

●道路維持事業 5588万円

市内全域の市道の維持管理を行います

財源 諸収入9万円 市5579万円

### ▼土木管理課

●交通安全施設整備事業（市道八谷海岸通り線）<sup>新</sup> 1002万円

社会資本整備総合交付金を活用して、歩行者の安全確保のため、既存歩道の段差解消や拡張を行います

財源 国550万円 市債310万円 市142万円

### ▼土木管理課

●総合流域防災事業 4812万円

生活河川である煤屋川は、蛇行した狭小な河川であり、豪雨時は浸水被害を受けているため改修を行います

財源 国1500万円 市債2480万円 市832万円

### ▼建設課

●コミュニティバス運行事業 439万円

市街地を巡回するコミュニティバスを運行し、移動制約者の移動手段を確保します

財源 市439万円

### ▼企業誘致・商工振興課

●路線バス運行事業 853万円

既存の路線バスの経路となっていない地域において、移動制約者を対象とした交通手段を確保するため、路線バスを運行します

▼企業誘致・商工振興課  
財源 市853万円

●松浦鉄道支援事業（松浦鉄道施設整備事業費補助金・松浦鉄道ICカード導入事業費補助金）2530万円

第三セクターである松浦鉄道の設備更新などの経営強化に対し支援を行います。また、ICカードを利用した共通乗車券システムの整備に対し支援を行います

財源 市2530万円

▼企業誘致・商工振興課

●地域住宅交付金事業 8386万円

老朽化が著しい市営住宅について、改修・改善を行います。また、平成23年度からの改修改善計画のため長寿命化計画の策定を行います

財源 国3722万円 市債4480万円 諸収入29万円 市155万円

▼建設課

●住宅・建築物耐震改修等事業 714万円

平成19年度に実施した公共施設の耐震化優先度調査をもとに、順次耐震診断を行います。また、一般住宅についても、耐震診断に必要な経費の

一部を助成します  
財源 国240万円 県3万円 市471万円  
▼建設課

●市営住宅管理運営事業 453万円

市営住宅9団地713戸の入居者が、安心して安全に暮らせるよう施設の管理運営を行います

財源 使用料448万円 市5万円  
▼建設課

●防犯灯設置費助成事業 85万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対し、事業費の一部について補助を行い、安全なまちづくりを推進します

財源 市85万円  
▼総務課

●井手口川ダム建設促進事業（東田代区減収補填交付金）<sup>新</sup> 500万円

井手口川ダムの建設に伴い、東田代区の運営費が減少したことに対し、運営費の補填（<sup>ほてん</sup>1250万円）を3年分割で行います

財源 市500万円  
▼開発推進課

●急傾斜地崩壊防止事業 1298万円

家屋などの背後地の急傾斜地や崖地の崩壊による被害の増大を未然に防止するための工事を行います

財源 分担金325万円 県649万円 市324万円  
▼建設課



国道498号線の土砂崩れ地点のパトロールの様子

●ため池等整備事業 2363万円

老朽化したため池の改修を県営事業で行います

財源 分担金478万円 市債1510万円 市375万円  
▼農山漁村整備課

●警防救急総務事業（消防緊急通信指令システム更新）<sup>新</sup> 176万円

平成13年4月より稼動している消防緊急通信指令システムについて、経年劣化による障害などの発生を防止するため、5年間のリース契約による更新を行います

財源 市176万円  
▼消防本部

●消防本部・署総務事業（訓練塔改修工事） 284万円

建設から30年以上経過している訓練塔について、老朽化によって使用時の危険性が増加していることから改修工事を行います

財源 市284万円  
▼消防本部

●婦人・幼少年消防クラブ育成事業 40万円

幼少期から防火思想の普及啓発を行うため、財団法人日本消防協会の助成を受け幼年消防用鼓笛セットなどの整備を行います

財源 諸収入40万円  
▼消防本部

●消防団施設整備支援事業 80万円

積載車格納庫の新設に係る事業費について補助を行います

財源 市80万円  
▼消防本部



軽可搬ポンプの説明を受ける婦人消防隊

# まちづくりの目標 5

## 自立と協働のまちづくり



自立した地域をめざし各町において主体的に取り組まれているまちづくり計画の策定や事業実施への支援に努めるほか、市民活動団体の相互連携などに取り組む市民ネットワーク『いまり』の活動を支援し、それぞれの団体自らが行う活動の活性化を促進するなど、市民との協働によるまちづくりを進めます。

また、将来にわたり健全な行財政運営を進めていくため、新たな行政改革大綱の策定に取り組むとともに、自主財源の確保をはじめ、行政評価の活用、機構改革によるコストの縮減など、さらなる行政改革の推進に努めます。



すっかり有名になった東山代町川内野地区の『元気鍋』

### ●地域の元気推進事業 948万円

町・地区公民館を単位に組織を見直し、まちづくり計画を策定するとともに、地域の課題などの解決に向けた取り組みを展開し、地域住民自らの手による自主・自立的なまちづくりを推進します

財源 繰入金940万円 市8万円  
▼男女協働・まちづくり課

### ●元気なまちづくり団体連携強化事業 11万円

まちづくりの中間支援組織市民ネットワーク『いまり』が行う研修会の開催や情報発信、組織拡大などに対し支援を行い、市民活動の活性化を

促します

財源 市11万円

▼男女協働・まちづくり課

### ●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 107万円

市民自らが楽しい夢のあるまちづくりを計画提案し、個性豊かな活力あるまちづくりを推進するため、市民活動団体に対し支援を行います

財源 財産収入6万円 市101万円  
▼男女協働・まちづくり課

### ●財政管理事業（財務書類作成業務等委託）<sup>新</sup> 551万円

新地方公会計制度に基づき、普通会計資産台帳の整備および連結対象となる普通会計、公営企業会計などを含めた連結財務書類の作成について、国の指針による『基準モデル』へ移行するために業務委託を行います

財源 市551万円  
▼財政課

### ●地域情報化一般事業（辺地共聴施設整備事業費補助金）<sup>新</sup> 2298万円

地上デジタル放送への移行対策を進めるため、国および県の補助金を活用し、波多津町加倉地区の共聴施設の改修および波多津町深谷、開拓、大知木地区の共聴施設の新設について事業費補助を行います

財源 国1905万円 県196万円 市197万円  
▼情報広報課



黒川町が開催する『夢みさきクロスカントリー大会』



波多津ふれあい広場の塩焼き釜での塩づくりの様子



 広報 **伊万里**

## 平成22年度 予算特集号

- 発行日／平成22年7月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (ダイヤルイン)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社

